



コミュニティスクールを導入！

来年度、門川町のすべての学校がコミュニティスクールになることに先駆け、本校は本年度からコミュニティスクールを導入します。そこで、コミュニティスクールについて、説明します。

今の子どもを取り巻く社会は、私たち大人が子どもの頃の環境と大きく変化しています。また、「変化が激しく、予測困難な未来」とも言われます。また、学校では、キャリア教育、いじめ・不登校、部活動の見直し、防犯・防災対策、食育、地域の課題解決など、課題が山積しています。もはや、「学校だけで解決することは困難」と言ってもいいと思います。更に、「学校は地域の学校」です。今現在、子どもさんが通っています。将来的には、保護者の皆さんのお孫さんが入学するかもしれません。門川中は、地域の学校として永久にここに存在することでしょう。

このようなことを考えると、どんな子どもを育てていくのかを学校、家庭、地域の大人が明確にもつことが必要です。ここで、学校や地域が抱える課題を解決するとともに、将来地域を担う人材を育成するために「学校運営協議会」を設置します。この「学校運営協議会」が設置された学校のことを、コミュニティスクールと言います。

「学校運営協議会」とは、地域住民の代表者（本年度は20名が門川町教育委員会に委嘱されました。）と教職員が構成員です。学校の在り方や地域との連携・協働の在り方について話し合う合議体です。これまでは、校長が「めざす生徒像」などを決め、学校経営方針を作成してきましたが、校長が地域の皆さんの意見を参考にして、「どんな学校を創っていくか。」を決め、『地域とともにある学校』をめざしていきます。この仕組みを、本年度だけで完全な形にすることは困難かもしれませんが、徐々に本校ならではのコミュニティスクールにしていきたいと考えています。

本校における、「学校運営協議会」の役割は以下の3点です。

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
- 学校運営についての意見を述べる。
- 学校や地域の課題解決のための具体的な手立てを協議する。

第1回学校運営協議会を6月13日（木）に実施しました。本年度がスタートしていますので、学校運営の基本方針を説明するだけになりました。その後、小グループに分かれ、「地域の方から見た、門川中学校生徒の課題」「その課題解決のために、地域の人材としてできること」を話し合っていました。その結果が、以下の2点です。

- 夏休みのラジオ体操で中学生に活躍の場（役割）を設定する。→7月4日（木）の地区懇談会で依頼
- 学校運営協議会委員が、秋までに1回は来校し、生徒の様子を観察する。（門川中の課題を捉えるため）

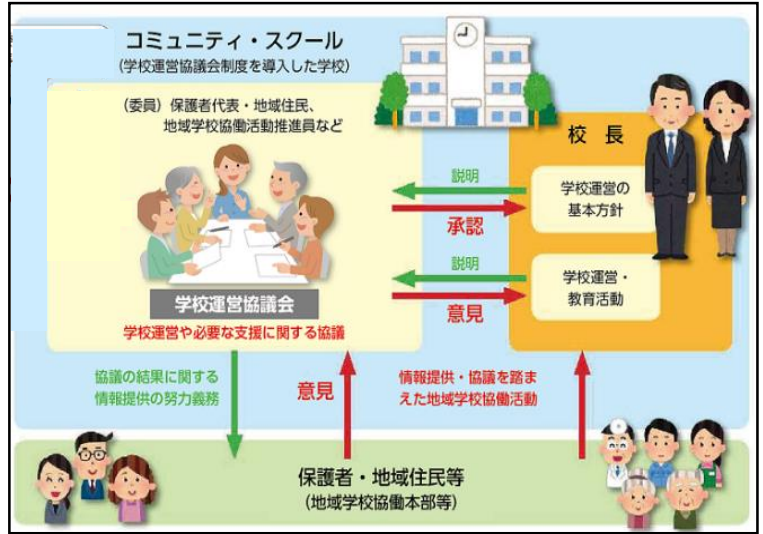
この取組をもとに、10月に予定している第2回学校運営協議会で更に「本校の課題」を整理し、次の取組を協議します。また、地域の方に協力していただくだけでなく、地域の課題に対して中学生ができることについても意見をいただきます。学校と地域とがウィン・ウィンの関係になればと思います。

体験学習を実施

6月17日（月）から21日（金）は、体験学習の一週間でした。一年生は地域学習、二年生は修学旅行、三年生は職場体験学習で、地域のこと、地域外の歴史や文化・平和について、働く意義など、各学年に応じた学びがありました。

この活動の中でも、地域の多くの方にご協力いただきました。大変ありがたいことだと感謝申し上げます。

なお、この時の「学び」につきましては、総合的な学習の時間でまとめ、発表していく予定です。



【文部科学省のコミュニティスクールのイメージ図（一部）】



【学校運営協議会委員の話し合いの様子】

